

鳥獣被害対策の充実強化

取りまとめ担当課
鳥獣被害対策支援センター
027-371-0003

県内の鳥獣被害 平成29年度

農業被害 約309百万円(前年比 95%)
林業被害 約257百万円(前年比 90%)

地域ぐるみで被害対策に取り組んだ地域では、効果が現れてきている。
一方、県全体では被害地域は拡大傾向にあり、被害は依然として高い水準にある。

H31予算額 846,710千円



獣種や被害の実態に応じた計画的な捕獲を強力に推進

地域が主体となった被害対策を総合的に支援

ぐんま未来創生基金を活用し、緊急対策として
シカ等の捕獲強化+カワウの捕獲者育成+市街地出没対策を実施

■捕獲推進:333,823千円

市町村と連携した計画的な捕獲、ICTを活用した効果的な捕獲等の推進により捕獲圧を強化

捕
る
対
策

- 生息状況等調査に基づく計画的な捕獲 23,706千円
- 指定管理鳥獣捕獲等事業 53,230千円
- 林業者等の捕獲支援等 4,730千円
- 市町村の捕獲等取組支援 167,257千円
- 奥山の鳥獣保護区域内での捕獲強化 37,919千円
- ICT活用による効果的な捕獲の実施 9,320千円
- カワウの捕獲技術者育成【新規】 5,020千円
- 担い手の捕獲技術強化研修 2,994千円
- 狩猟免許試験・技術講習会 5,541千円 ほか



(わなによる捕獲)

■防護対策、生息環境管理:497,520千円

地域が主体となった地域ぐるみの被害対策を総合的に支援

守
る
対
策

- 鳥獣害に強い集落づくり支援 3,474千円
- 鳥獣被害防止総合対策交付金(市町村の主体的な取組を支援) 132,000千円
- 農林地等への野生鳥獣侵入防止等対策 200,321千円
 - ・小規模農村整備事業、農山漁村地域整備交付金等
 - ・補助公共造林事業等
- 移動経路寸断のための河川整備 155,200千円 ほか



(住民主体の侵入防止柵の設置)

■調査、研究、人材育成:15,367千円

技術開発等による効果的な被害対策、体系的な人材育成の実施

知
る
対
策

- 被害対策人材の育成研修 1,255千円
- 市街地出没時の対応研修 479千円
- 広域連携の推進 530千円
- 日本獣医生命科学大学との連携 9,000千円
- 獣類による人工林加害状況の把握と獣害対策の開発 706千円 ほか



(被害対策研修会)



対策の実施により農林業者、地域が被害減少を実感